

武漢事務所週刊ニュース (2016. 5. 14-2016. 5. 20)

2016年5月14日

屈原の故郷で端午文化祭が6月8日に

今年端午文化祭が6月8日から宜昌秭帰市で開幕した。期間は一ヶ月間で、期間中の国内外のゲストを宜昌に招く。詩の吟唱、ドラゴンボートレース、屈原の弔い、景色観賞、美食を堪能の、六大テーマ“文化料理”を体験しよう。

端午節は中華文化圏の重要で伝統的な祝日であり、2009年に人類非物質文化遺産に登録されてから、文化部と湖北省政府が合同で、宜昌にて3度開催している。

2016年5月19日

146枚の日本文人の絵が武漢大学で展示

展示会は武漢大学万林博物館、香港博大東方美術館が共同で主催する。146枚の名画は、山水、花鳥、人物など中国絵画の技法と風格、そして日本の民族精神と美への理解を融合することで、特色の絵画スタイルを形成している。展示会は6月19日まで開催される。

2016年5月19日

5分間でゴマ粒サイズの癌の病巣を発見

世界をリードするPET-CTプロジェクトが鄂州より誕生

癌の早期検出は医者と患者共通の願いであり、“PET-CT”は願いそのものである。去年9月、世界初の人体臨床に適用可能な“正電子発射断層撮影とX射線断層撮影スキャン(デジタルPET-CT)”機械が、武漢光電国家実験室(計画準備)の研究員及び、華中科技大学生命学院教授謝慶国が率いるチームの15年間の研究により開発に成功した。“今、サンプル機械2台が出来ており、今後さらに10台の生産能力が備わる予定。“早ければ8ヶ月以内に湖北作りのPET-CTが市場に出まわる。”